《貧血 No2》

問 1 貧血用薬とその有効成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 鉄製剤を服用すると便が黒くなることがある。
- b マンガンは、糖質・脂質・タンパク質の代謝をする際に働く酵素の構成物質であり、エネルギー合成を促進する目的で、硫酸マンガンが配合されている場合がある。
- c ビタミンB₁₂は、消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つことを目的として用いられる。
- d 鉄分の吸収は空腹時のほうが高いとされているが、消化器系への副作用を軽減するために、鉄製剤は、食後に服用することが望ましい。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	正	誤

問 2 貧血用薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 鉄製剤を服用して便が黒くなった場合は、ただちに服用を中止する必要がある。
- b 巨赤芽球貧血は、ビタミンB₂が不足して生じる。
- c 鉄製剤は、服用の前後30分にコーヒーを飲むと、鉄の吸収が悪くなることがある。
- d 鉄要求量の増加する妊婦では、鉄欠乏性貧血の予防に鉄製剤を使用することが推奨される。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	正	誤	誤	正
3	誤	誤	正	誤
4	正	正	誤	誤
5	誤	誤	誤	正

問 3 貧血用薬（鉄製剤）及びその配合される成分に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 鉄欠乏性貧血において、鉄製剤を服用していれば、食生活の改善を図ることは重要でない。
- b 鉄製剤を服用すると便が黒くなることがあるが、使用の中止を要する副作用等の異常ではない。ただし、鉄製剤の服用前から便が黒い場合は貧血の原因として消化管内で出血している場合もあるため、服用前の便の状況との対比が必要である。
- c ビタミンB6は、消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つことを目的として用いられる。
- d 鉄製剤の服用の前後30分にタンニン酸を含む飲食物（緑茶、紅茶、コーヒー、ワイン、柿等）を摂取すると、タンニン酸と反応して鉄の吸収が悪くなることがある。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

問 4 貧血用薬の配合成分に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 骨髄での造血機能を高める目的で、硫酸コバルトが配合されている場合がある。
- 2 補充した鉄分を利用してヘモグロビンが産生されるのを助ける目的で、硫酸銅が配合されている場合がある。
- 3 消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つ目的で、葉酸が配合されている場合がある。
- 4 エネルギー合成を促進する目的で、硫酸マンガンが配合されている場合がある。

- 問 5 貧血用薬（鉄製剤）及びその配合成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。
- a 貧血は、その原因によりビタミン欠乏性貧血、鉄欠乏性貧血等に分類されるが、鉄製剤で改善できるのは、鉄欠乏性貧血のみである。
 - b 鉄分の吸収は空腹時のほうが高いとされているが、消化器系への副作用を軽減するには、食後に服用することが望ましい。
 - c 服用の前後30分以内に緑茶やコーヒーを摂取すると、それらに含まれているタンニン酸によって、鉄の吸収が良くなる。
 - d コバルトは、糖質・脂質・タンパク質の代謝をする際に働く酵素の構成物質であり、エネルギー合成を促進する目的で、硫酸コバルトが配合されている場合がある。

	a	b	c	d
1	誤	誤	正	正
2	正	誤	誤	正
3	正	正	誤	誤
4	正	正	正	誤
5	誤	正	正	正

- 問 6 貧血症状及び貧血用薬（鉄製剤）に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。
- a 鉄分の摂取不足を生じると、初期段階からヘモグロビン量が減少するため、ただちに動悸、息切れ等の貧血の症状が現れる。
 - b 鉄欠乏性貧血を予防するため、貧血の症状がみられる以前から継続的に鉄製剤を使用することが適当である。
 - c 鉄製剤を服用すると便が黒くなることがある。これは使用の中止を要する副作用等の異常ではないが、服用前から便が黒い場合は貧血の原因として消化管内で出血している場合もあるため、服用前の便の状況との対比が必要である。
 - d 鉄製剤の主な副作用として、悪心（吐きけ）、嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹痛、便秘、下痢等の胃腸障害が知られている。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

- 問 7 貧血用薬（鉄製剤）に係る相談を受けたときの対応に関する記述のうち、正しいものはどれか。
- 1 より効果が得られるよう複数の鉄製剤を併用するよう提案する。
 - 2 消化器系への副作用を軽減するには、食後に服用することが望ましいと説明する。
 - 3 緑茶の摂取により鉄の吸収が良くなるので、服用の前後30分に緑茶を摂取するよう勧奨する。
 - 4 食生活を改善し、かつ本剤の使用を2週間程度続けても症状の改善がみられない場合には、別の一般用医薬品である鉄製剤への変更を提案する。

- 問 8 貧血用薬及びその配合成分に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。
- a 鉄製剤 は、服用の前後30分にコーヒーを飲むと、鉄の吸収が悪くなることがある。
 - b 葉酸は、消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つことを目的として配合されている。
 - c コバルト は、赤血球ができる過程で必要不可欠なビタミンB12の構成成分であり、硫酸コバルトは、骨髄での造血機能を高める目的で配合されている。
 - d 鉄欠乏性貧血を予防するため、貧血の症状がみられる以前から継続的に鉄製剤を使用することが適当である。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、c) 4 (b、d) 5 (c、d)

- 問 9 貧血用薬及びその配合成分に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。
- a コバルトは、糖質・脂質・タンパク質の代謝をする際に働く酵素の構成物質であり、エネルギー合成を促進する目的で、硫酸コバルトが配合されている場合がある。
 - b 鉄製剤服用の前後30分に緑茶を摂取すると、鉄の吸収が良くなることが知られている。
 - c 鉄製剤を服用すると便が黒くなることがあるが、服用前から便が黒い場合は貧血の原因として消化管内で出血している場合もあるため、服用前の便の状況との対比が必要である。
 - d 鉄分の吸収は空腹時のほうが高いとされているが、消化器系への副作用を軽減するには、食後に服用することが望ましい。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、c) 4 (b、d) 5 (c、d)

問 10 貧血と貧血用薬及びその成分に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 鉄分の摂取不足が生じた場合、直ちにヘモグロビン量が減少し、貧血の症状が現れる。
- b 鉄製剤を服用すると、便が黒くなることがある。
- c 骨髄での造血機能を高める目的で、貧血用薬に硫酸コバルトが配合されている場合がある。
- d ビタミンC（アスコルビン酸等）は、消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つことを目的として用いられる。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	正
5	誤	正	正	誤

問 11 貧血及び貧血用薬（鉄製剤）とその成分に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 貧血の症状がみられる以前から予防的に貧血用薬を服用することは適当である。
- b 鉄分は、赤血球が酸素を運搬する上で重要なヘモグロビンの産生に不可欠なミネラルである。
- c 貧血用薬を服用する前後 30 分にタンニン酸を含む飲食物（緑茶、紅茶、コーヒー等）を摂取すると、タンニン酸と反応して鉄の吸収が促進される。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

問 12 貧血及び貧血用薬に含まれている成分に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 鉄分の摂取不足を生じて、初期には貯蔵鉄や血清鉄が減少するのみで、ただちに貧血の症状は現れない。
- b ビタミン B₁₂ が不足して生じる巨赤芽球貧血は、悪性貧血と呼ばれている。
- c ビタミン B₆ は、消化管内で鉄が吸収されやすい状態を保つことを主な目的として用いられる。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	誤

問 13 貧血及び貧血用薬（鉄製剤）に含まれている成分に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 貧血用薬（鉄製剤）の主な副作用として、間質性肺炎を生じることが知られている。
- b 貧血のうち、鉄製剤で改善できるのは、鉄欠乏性貧血のみである。
- c 貧血用薬（鉄製剤）を服用する前後 30 分にタンニン酸を含む飲食物（緑茶、紅茶、コーヒー等）を摂取すると、タンニン酸と反応して鉄の吸収が促進される。
- d 体の成長が著しい年長乳児や幼児、月経血損失のある女性、鉄要求量の増加する妊婦・母乳を与える女性では、鉄欠乏状態を生じやすい。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、c) 4 (b、d) 5 (c、d)

問 14 貧血用薬（鉄製剤）及びその成分に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 鉄分の吸収は空腹時のほうが高いとされているが、消化器系への副作用を軽減するには、貧血用薬（鉄製剤）は食後に服用することが望ましい。
- b 鉄分は、赤血球が酸素を運搬する上で重要なヘモグロビンの産生に不可欠なミネラルである。
- c 貧血の症状がみられる以前から予防的に貧血用薬（鉄製剤）を使用することは適当ではない。
- d 服用の前後 30 分にアスコルビン酸を含む飲食物を摂取すると、鉄の吸収が悪くなることがあるので、服用前後はそれらの摂取を控えることとされている。

	a	b	c	d
1	誤	誤	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	正	誤	正
5	正	正	正	誤

問 15 次の表は、ある貧血用薬に含まれている成分の一覧である。この貧血用薬に関する次の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

1錠中

溶性ピロリン酸第二鉄 79.5 mg

ビタミンC 50 mg

ビタミンE 酢酸エステル 10 mg

ビタミンB12 50 µg

葉酸 1 mg

- a 本剤により、便が赤色になることがある。
- b ビタミンCは、正常な赤血球の形成を目的として配合されている。
- c ビタミンB12 は、消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つことを目的として配合されている。
- d 服用前後 30 分はタンニン酸を含む飲食物の摂取を控える。

1	誤	正	正	誤
2	誤	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	誤	誤	正
5	正	正	誤	正

問 16 貧血用薬（鉄製剤）の配合成分に関する記述について、（ ）の中に入れるべき正しい字句はどれか。

（ ）は、赤血球ができる過程で必要不可欠なビタミンB12の構成成分であり、骨髄での造血機能を高める目的で、その硫酸塩が配合されている場合がある。

- 1 銅
- 2 マンガン
- 3 亜鉛
- 4 カルシウム
- 5 コバルト

問 17 貧血用薬（鉄製剤）に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 鉄欠乏性貧血に対して不足している鉄分を補充し、造血機能の回復を図る医薬品である。
- 2 服用すると便が黒くなることがある。
- 3 補充した鉄分を利用してヘモグロビンの産生を助ける目的で、硫酸銅が配合されている場合がある。
- 4 消化器系への副作用を軽減するには、食前に服用することが望ましい。

問 18 貧血用薬（鉄製剤）に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 食生活を改善し、かつ鉄製剤の使用を2週間程度続けても症状の改善がみられない場合には、鉄製剤の使用を漫然と継続することは適当でない。
- b 貧血の症状がみられる以前から予防的に鉄製剤を使用すべきである。
- c 複数の貧血用薬と併用すると、胃腸障害や便秘等の副作用が起こりやすくなる。
- d 胃への負担を軽減するため、腸溶性とした製品もある。

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	正	正	正	正
4	誤	正	正	誤
5	正	誤	誤	誤

問 19 貧血及び貧血用薬とその配合成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 鉄分は、白血球が酸素を運搬する上で重要なヘモグロビンの産生に不可欠なミネラルである。
- b 体の成長が著しい年長乳児や幼児、月経血損失のある女性、鉄要求量の増加する妊婦・母乳を与える女性では、鉄欠乏状態を生じやすい。
- c 鉄製剤は、消化器系への副作用を軽減するために、食後に服用することが望ましい。
- d 鉄製剤は、服用の前後30分にタンニン酸を含む飲食物を摂取すると、吸収が悪くなることがある。

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	誤
2	誤	正	正	正
3	正	誤	誤	正
4	正	誤	正	誤
5	正	正	正	正